

# IR情報 平成17年4～12月報告

## 業績の概況

当社の平成17年度第3四半期（平成17年4月1日～平成17年12月31日）における業績についてお知らせします。

第3四半期においても株価の上昇などにより景気の回復期待感が一層浸透し、政府の経済成長率の見通しも1%と報道されています。しかしながら家庭配置薬業界においては、販売競争の激化に加え重要課題であります資格問題に対して医薬品販売制度改正検討部会での議論の結論が見えない状況ではありますが、当社グループ会社の広貴堂薬品販売におきましては、新しい資格制度に対応できる医薬品販売企業として人材育成に努めてまいります。また、このような状況下においてメーカーとしての果たすべき役割、また家庭配置薬業者の方々に対する支援のあり方などを社内で検討し、今後を見据えた施策を着実に実施する所存であります。なかでも医薬品販売に従事する人々の教育制度体系を18年9月までに構築したいと考えています。

当社では、本年度も含めた中期3ヵ年計画に基づき経営の効率化を図っていますが第4四半期には、平成18年度経営計画を策定し新年度への準備を進めてまいります。また、17年9月22日以降においては当社の創業130年目に入り、日頃の感謝の気持ちとお客様の健康を願って家庭配置薬をご愛用していただいているお客様を対象に「生活習慣病予防セミナー」を全国主要都市で開催する予定であります。まず手始めとして沖縄県で昨年11月に開催したところ好評を得ることができました。今後、各販社の方々とも協力してお客様の健康増進に寄与していく所存であります。

平成17年度第3四半期を終え、当社の売上高としては、78億84百万円余（前年同期比103.0%）2億31百万円余の増収となりました。前年同期と比べ増収になった背景としては、医療用受託売上の増加およびドラッグ向け製品の販売が顕著に伸長したためであります。配置卸部門においては全社的な危機感のもと社員が一丸となって提案型営業を展開したため前年比96.9%と上半期に比して改善の兆しが見えてきました。当社のコアビジネスであります配置部門の戦略については、体質強化や業界全体の協業化、最適化を図るため本年4月1日での分社化を検討いたしております。また、販促企画や新商品提案などのためマーケティング戦略本部準備室を立ち上げ、4月に向けた体制作りと仕組みづくりに着手いたしました。収益面では売上原価の低減や人件費の削減に努めた結果、経常利益が6億81百万円余、前年同期と比べて2億95百万円余の増益となりました。

### 平成17年度第3四半期報告（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

		H17年度 4～12月 (実績)	H16年度 4～12月 (実績)	対前年 同期比 (%)	H17年度 4～12月 (計画)
売上高	百万円	7,884	7,653	103.0	7,984
営業利益	百万円	576	329	175.0	341
経常利益	百万円	681	386	176.4	392
当期純利益	百万円	445	295	150.8	392
資本金	百万円	1,395	1,395	100.0	
発行済株式総数	千株	10,380	10,380	100.0	
純資産額	百万円	6,742	6,144	109.7	
総資産額	百万円	16,111	16,522	97.5	
1株当り純資産額	円	655.19	594.78	110.1	
1株当り当期純損益額	円	43.08	28.58	150.7	
自己資本比率	%	41.84	37.18	112.5	
自己資本利益率	%	6.60	4.80	137.5	
従業員数	人	325	327		

- (注)1. 百万円未満は切り捨てて表示しております。  
2. 従業員数は、正社員の就業人員であります。

### 平成17年度第3四半期グループ会社報告（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

	日本薬剤㈱	広貴堂 産業 ㈱	広貴堂メ ディーズ㈱	広貴堂 薬品販売㈱	㈱ 沖 縄 広 貴 堂	トキワ 広 貴 堂
	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
売上高	百万円 1384	68	235	1426	152	275
営業利益	百万円 47	2	△100	△53	7	7
経常利益	百万円 54	3	△91	△48	7	7
当期純利益	百万円 35	1	△91	△51	6	2
従業員数	人 8	6	14	166	1	27

- (注)1. 百万円未満は切り捨てて表示しております。  
2. 従業員数は正社員の就業人員であります。

～以上～